

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 31日

事業所名 みらいリンク糸満大里

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6				・広さは確保されていると思います。 ・個別対応の際、しきりを設ける等環境作りをします。
	2	職員の配置数は適切である	6				・児童発達責任者、保育士、児童指導員、理学療法士、作業療法士、パート職員を配置。職員の配置数は適切と思います。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	2		・現在利用している児童は問題なく活動できている。	・平屋の為室内はバリアフリーですが、玄関先に2段の階段があるので、子ども達の安全に配慮しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6				・朝礼、夕礼に参加できない場合もあるので、職員間連絡帳で情報共有を図っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1			・毎年自己評価アンケート調査を行い、結果を公表し、保護者からの意見を踏まえ改善するように努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		1		・自己評価は、ホームページ上で公表しています。ご要望があれば、紙面配布を実施します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1	2		・外部評価の実施を検討します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6				・職員の経験年数や業務内容に応じ、適切な内容の研修を案内し、全員が研修を受けられるように配慮します。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6				・利用開始時は、見学・体験、保護者面談を行い、ニーズの確認や子どもの様子を観察、発達検査やWISC検査等の結果を踏まえ個別支援計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6				・スキルリストに沿って個々人のレーダーチャートの作成し活用していきたいと思っています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6				・活動プログラムの継続性や見直しについて関係する職員全員で、適宜検討会議を開きます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6				・季節に合わせた活動や行事に合わせたおやつ作り、長期休暇時は、平日に行けない場所への外出支援など飽きのこない活動内容を工夫しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6				・月刊誌、機関紙・本・インターネット等多角的に情報を収集し活動が固定化しないよう工夫します。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6				・一人ひとりの特性に応じ、集団適応やソーシャルスキルの視点を踏まえ、個別活動と集団活動の視点で個別支援計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		1	・朝礼で予定の確認と注意点を共有している。	・朝礼でその日の活動確認、夕礼でその日の活動の振り返りを行い、気になる点や対応方法の共通認識を持った方がよい事例等をあげ、情報の共有化を図りつつ、次回からの支援のステップアップに繋げる様にしています。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6			・夕礼で1日の振り返りを行っている。	・夕礼を継続します。 ・個々の児童への支援の在り方、問題点の情報共有を行っています。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6				・日々、支援記録を記入し、支援の検証・改善に繋げています。	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6				・4月、9月に職員で計画書の検証・評価をし次の計画書作成に活かしています。 ・今後は、保護者のみならず子ども自信へ聞き取りを行い目標設定や取り組みたい事などを計画書へ反映させていきます。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	6				・ガイドラインに基づき「自立支援」「創作活動」「地域交流」「余暇支援」の視点を踏まえ活動しております。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6				・児童発達支援管理責任者や対象児童により詳しく適任者と思われる職員を選んで出席しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6				・家族や学校との情報交換がされており、申し送りなどがあれば職員間で共有している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					・該当利用者無し。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6				・保育所や幼稚園、認定こども園等、必要に応じ積極的に情報共有と相互理解を図っております。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	6				・卒業前に担当者会議を開催し、移行先の障害福祉サービス事業所の担当者や関係機関に情報提供を行っております。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1			・児童発達センターや専門機関の研修会へ必要に応じて参加しております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5			未回答1 ・公園等へ遊びに行った時に地域の子との交流がある。	・交流のみを目的とした活動は行っていませんが、外出時に二次的に交流が生まれる場面がありました。今後は、児童館等積極的に利用し、障がいのない子どもたちとの交流を深め地域に根ざした活動を行っていききたいと思います。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3		1	未回答2	・昨年より、糸満市自立支援協議会の子ども療育部会に委員として参加します。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6				・日頃から子どもの状況や課題について話をする様に心掛け、必要に応じ個別相談の時間を設けています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	1		未回答1	・保護者から要望もあった為、個別や少人数でのペアレントトレーニングを開催したいと思います。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			・契約時に丁寧に説明している。	・継続して丁寧な説明を心掛けます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6				・日頃から子どもの状況や課題について話をする様に心掛け、必要に応じ個別相談の時間を設けています。 ・保護者が相談しやすい雰囲気づくりを心がけます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6				・一度に集めまる保護者会、少人数で集まる保護者会に分け、意見交換をし易い場を設けます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6				・苦情やご意見を頂いた場合、真摯に受け止め対応致します。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		1	・ブログで広報。 ・ブログに載せている。	・活動内容をブログへ掲載していますが、全保護者がブログを確認できるようホームページ閲覧を勧めてまいります。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	35	個人情報に十分注意している	5			未回答1	・個人情報が記載された書類は鍵付きの書庫に保管しています。 ・職員採用時に誓約書を記入してもらっています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6				・情報交換や保護者の意見などLineを利用し、意思疎通を図りやすいようにしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	1		・今後計画を立てている。	・地域住民方が来場しやすいイベントを検討していきたいと思います。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6				・マニュアルについて、保護者会で説明の場を設ける等し、周知や訓練につて日々改善に努めてまいります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6				・定期的な訓練を通して新しい情報も学び、安全性を高めていきたいと思っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6				・虐待防止の為研修を通してより理解を深め学習を継続します。 ・内部研修開催や外部研修に参加する機会を設けます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6				・身体拘束に関しての対応方法は、契約書や重要事項悦明で保護者へ丁寧な説明をし、職員へは身体拘束の条件を周知徹底します。 ・対象児童がいる場合は組織的に決定し、個別支援計画に記載します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6				・アレルギー対応のお子さんがいれば、状況を把握し情報を共有します。 ・現在医師の指示が必要な利用者はいませんが、対象児童がいる際は、指示書の基づき対応します。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6				・ヒヤリハットを記載できるよう、事例が発生した場合は速やかに記入するようにします。 ・より多く作成した方がよいと思います。	